

科目	論理・表現 II	学年	第2学年	開講	通年	必修	2単位
学習目標	論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝えるために土台となる文法を習得し、コミュニケーション能力を高める。						

教科書： CROWN Logic and Expression II
 副教材： English Grammar in Use (Cambridge)

学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	題材	言語材料	月	考查	評価の観点		
前期		STAGE1 Lesson1	Dear Mayor(人生・生き方)	希望・願望/依頼・要請・許可	4	中間	○	○	○
		Lesson2	Manga Find Ever-interesting Global Fans(漫画・芸術)	感情を表す表現	5		○	○	○
		Lesson3	Japanese Baths (日本文化・異文化理解)	忠告・義務/必要/提案・勧誘	6		○	○	○
		Lesson4	Innovators of the World (人物・科学)	時間的順序	7		○	○	○
		Lesson5	Don't Throw Us Away (社会問題)	例証/分類・列挙	6	期末	○	○	○
		STAGE 2 Lesson6	Urban Development (都市計画)	空間配列・方向	7		○	○	○
		Lesson7	Food and Culture in the World (料理・食文化)	方法・様態/数量表現			○	○	○
前期 授業評価							○	○	○
後期		Lesson8	The Potential E-Sports (スポーツ)	賛成・反対	9	中間	○	○	○
		Lesson9	All Gone?(生態系?環境問題)	原因・理由/目的/結果	10		○	○	○
		Lesson10	The "New Normal" at School (教育)	比較・対照/譲歩	11		○	○	○
		Project①	Speech & Presentation	スピーチ・プレゼンテーションの進め方・留意点・表現例	12	期末	○	○	○
		Project②	Discussion	ディスカッションの進め方・留意点・表現例	1		○	○	○
		Project③	Debate	ディベートの進め方・留意点・表現例			○	○	○
		Project④	Writing	ライティングの進め方・留意点・表現例			○	○	○
後期 授業評価							○	○	○

評価の観点	・「論理表現 I」で学んだ学習内容を本科目の言語活動において活用したり、自分の考えなどを表現する際にそれらを話したり書いたりして表現できるような段階まで定着できているか。
-------	---

4 観点別評価の評価基準

3観点	評価方法	
知識・技能	定期考査80%・課題20%	英語を読み・書き・話すために必要な音声・語彙・文構造・文法を理解し、英語を運用するための技能を身につけていること。
思考・判断・表現	定期考査20%・レポートやプレゼンテーション80%	さまざまな課題を通して身につけた知識や技能を使って、英語を読み、聞いたときに、内容の概要や要点を把握できること。自分の意見や気持ちを英語では無し、書いて、相手に伝えることができること。
主体的に学習に取り組む態度	授業態度や意欲50%・課題50%	英語を勉強する意義や必要性を理解し、実際に使ってみようとする意欲や態度・自分の英語力や学習状況を把握し、学習方法などを自ら改善しようとする態度・設定された期限までに課題を完成させるのに必要な時間管理能力。